

2014 WDB REPORT



30th Anniversary

WDBホールディングス株式会社

株主・投資家の皆様へ

第30期 報告書

WDB®

CONTENTS

■ 企業理念	1
■ 株主の皆様へ	2
■ WDB30年のあゆみ	3
■ 組織図	5
■ 事業紹介	6
■ トピックス	8
■ 連結財務諸表	9
■ 財務ハイライト	10
■ 会社の概況	13
■ 株式状況	14

## 埋もれた価値を発掘していく会社でありたい

私たちWDBグループは、埋もれている価値を見出し、そこに光を当てて新たな価値を付加していくことができる会社であると自負しています。人材サービス事業においても理学系研究職という新しい市場を開拓しました。今、新たに取り組んでいる新規事業についても同じ考え方です。

マネジメントの限界に達しているが、隠された価値のある会社に対して、当社グループの人材とマネジメントの手法を投入することによって企業価値を高めていくことを考えています。企業買収を行うときには、「発掘」に重きをおいた考え方をしています。自力成長については、他社が他の手法で行っている事業に対して、新たなビジネスモデルで取り組み、業界の慣習を変え、価値を生み出す、「ビジネスの価値」という「価値」そのものを見つかることも重視しています。どちらの成長方法にしても、マネジメントの手法、人材育成の手法が当社グループ独自のノウハウだと考えています。その手法を「仕組み」として持ち、企業買収においても自力成長においても、新たな価値を発掘し、創造し続けることのできる会社を目指しています。

### 事業の目的

事業を通じて尊敬される企業を目指したい。

- ・革新性
- ・経営の質
- ・従業員の才能
- ・製品及びサービスの品質
- ・長期投資の価値
- ・財務の健全性
- ・社会的責任
- ・企業資産の活用

関わる人間すべてを幸福にできる企業。決してたやすいことではありません。だからこそ、私たちは挑戦し続けたいのです。

### 果たすべき責任

企業には以下の果たすべき責任があります。

**基本責任**…資本に対して一定の利益をあげること

**義務責任**…反社会的行為をしない、脱法行為をしない

**支援責任**…企業の理念や良識に従い、社会に貢献する

私たちWDBグループの果たすべき責任は、

- ・働きがいのある職場を多く提供すること
- ・事業を通じて喜びを感じ成長し、自己実現する人々を多く輩出すること

派遣就労によるキャリアの断絶の問題、ポストク問題、日本の産業競争力低下の問題。それぞれに仕組み、事業化していくことで、基本責任、義務責任、支援責任を果たしていきます。

### ビジョン

#### お客様に対するビジョン ■ 仕事ではなく「価値」の提供

自分たちが関わった仕事に対して「何をしたか」ではなく、「どんな役に立てるのか」「どんな価値を提供できるのか」と考え、対価に対して納得いただけるように真剣に取り組めます。

#### 私たちの会社を通じて働く人々へのビジョン ■ 「働く喜び」の提供

仕事の内容、報酬、ライフスタイルにあった働き方、自己の成長など様々な要素から、働く人それぞれに「働く喜び」を提供できる会社でありたい。人間にとって大切な「働く」ということに誠実に向き合い、多くの人の「働く喜び」を重ねながら新たな事業につなげることが私たちの使命であると考えます。

#### 私たち自身に対するビジョン ■ 誇りをもって働ける会社

WDBグループの一員として果たすべき社会的責任を認識し、その一部を担っているのは自分だと思える強い意識。自ら積み上げてきた努力や実績でさえ状況に応じてクラッシュ&ビルドする勇気と覚悟。その気概こそWDBグループの社員たちの誇りであり、グループを牽引する原動力なのです。

#### 株主に対するビジョン ■ 「価値」の還元

株主、派遣スタッフ、グループ社員、取引先、地域社会など、すべてのステークホルダーに対する経営責任。企業としての利益追求はもとより、新たな雇用創出や高付加価値サービスの提供、企業としての発展という様々な「WDBグループの価値」を、企業価値、即ち時価総額を高めることと、配当を通して株主に還元することも重要な使命と考えています。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第30期報告書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

第30期における国内経済の状況は、消費税の増税による駆け込み需要の反動や、夏場の天候不順の影響もあって、個人消費については減少傾向でしたが、政府や日銀の推進する各種施策や、円安・原油安を背景とした企業収益の改善により、国内景気は堅調に推移いたしました。

当社グループが属する人材業界につきましては、有効求人倍率・完全失業率は改善傾向にあり、また、かねてより検討されており、『労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（労働者派遣法）』が、平成27年3月に国会に提出をされており、今後、人材派遣業界については、1986年の労働者派遣法成立から大きな転換点を迎えようとしております。

当社グループは、化学・バイオ分野を中心とした「理学系研究職」、機械・電子分野を中心とした「工学系技術職」からなる「人材サービス事業」、医薬品開発における支援事業である「CRO事業」、有機化学品の受託製造、二枚貝を中心とした海水生物の販売・受託試験、射出成形機器を取り扱う「研究開発・製造事業」の3つの事業領域ならびに、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」で構成されており、当社を含め、16社の企業グループを形成しております。

このような状況のもと、中核である「人材サービス事業」におきましては、理学系研究職派遣事業において、新たな拠点の拡充等、営業拠点の拡充を進め、現在全国64拠点を展開しております。また、工学系技術職派遣事業においては、平成26年4月にWDB工学株式会社が本格的に事業を開始し、エンジニアリング分野における新たな市場を開拓すべく活動しております。

「CRO事業」につきましては、医薬品の開発、臨床研究に関わる分野において、薬事申請・医薬系翻訳を得意分野とするWDBアイシーオー株式会社、データマネジメント・統計解析を専門とする電助システムズ株式会社の2社体制としており、それぞれの強みを活かし、2社共同でのプロジェクトの受注に成功する等、シナジー効果を発揮しております。

また、「研究開発・製造事業」においては、平成26年4月に、工学系技術職人材事業とのシナジー効果を発揮させる為、当社

グループのM&Aとしては8社目となる、ガスアシスト技術を用いた射出成形装置の開発・製造を手がける株式会社カケンジェネックスの株式を取得し、完全子会社化致しました。また、平成26年9月には、株式会社WDB環境バイオ研究所が、国内初となる魚類急性毒性試験に関する認証規格であるISO/IEC17025：2005を取得し、海水生物を対象とした認定試験所として、環境リスクアセスメントに対応可能な試験サービスの提供を開始いたしました。

以上のような活動の結果、当連結会計年度の売上高は、27,651百万円（前年同期比8.5%増）となりました。経常利益は2,549百万円と、前連結会計年度と比べ484百万円（前期比23.5%増）の増益、当期純利益は1,516百万円と前連結会計年度に比べ366百万円（前期比31.8%増）の増益となり、過去最高の業績となりました。

第31期につきましては、売上高30,200百万円（前期比9.2%増）、経常利益2,809百万円（前期比10.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,680百万円（前期比10.8%）を計画しております。

当社グループは、平成27年7月に、創業30周年という節目を迎えます。これもひとえに株主の皆様からのご支援の賜物であると心より厚く御礼を申し上げます。

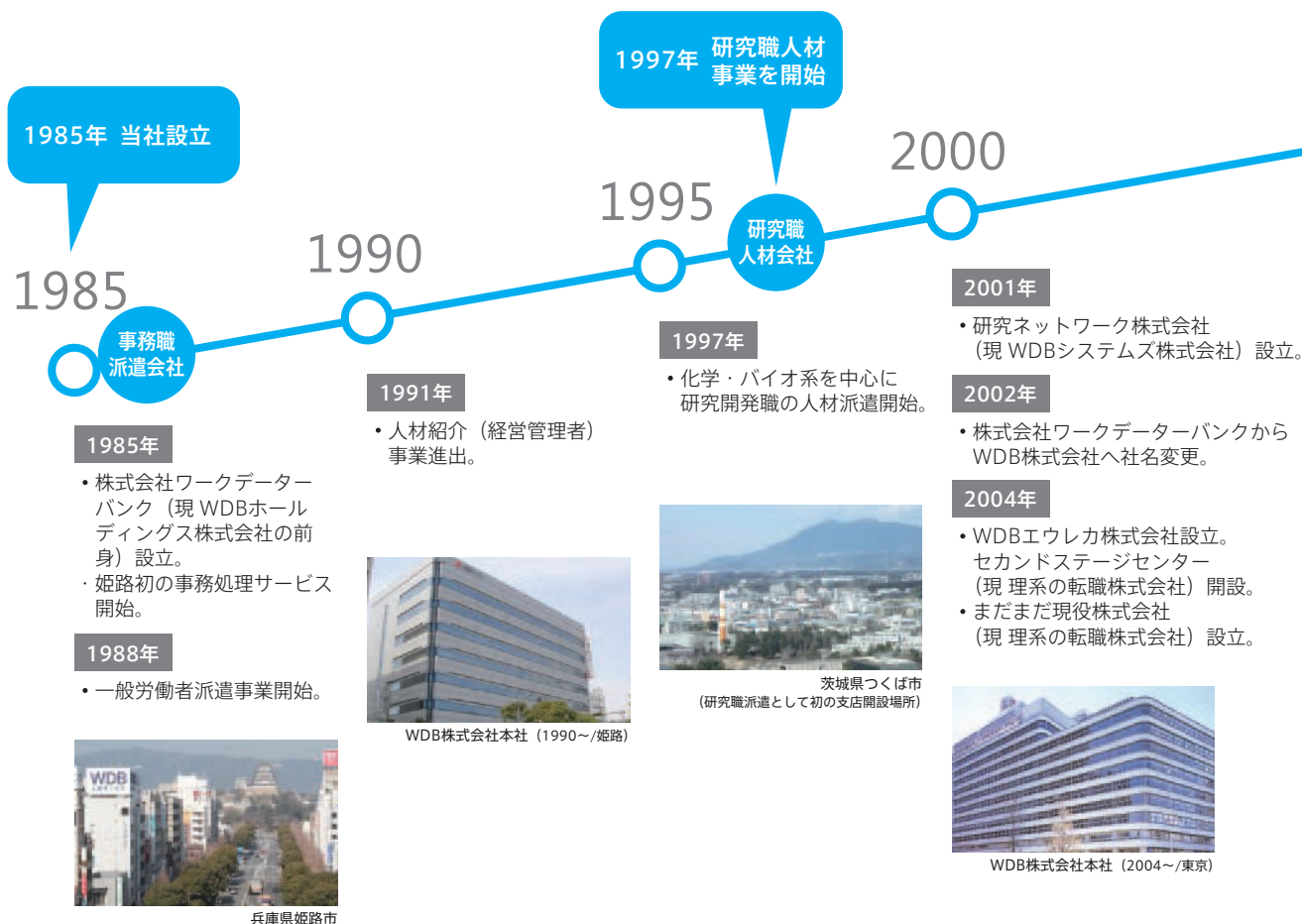
1985年の創業以来、現在の中核事業である理学系研究職への事業転換、M&AによるCRO事業、研究開発・製造事業への進出、持株会社化による機動的な経営体制の構築、東京証券取引所市場第一部への指定替等、歩を緩めることなく進んでおります。これからの道のりも決して平坦ではありませんが、2021年3月期における売上高1,000億円、経常利益100億円の目標達成へ向けて、経営陣・従業員一丸となって邁進していく所存であり、株主の皆様には、安定的な配当を継続してまいります。

今後とも当社グループへの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



WDBグループ代表  
中野 敏光

2015年7月、WDBホールディングス株式会社は創業30周年を迎えます。  
 1985年の創業以来、現在は東証一部への上場も果たし、  
 子会社15社を含め16社の企業グループへと成長することが出来ました。  
 事務処理サービスの会社として始まり、日本の研究現場を支える企業グループとなるまでの  
 30年間の足跡をご覧ください。



2005年 人材養成  
事業を開始

2008年 事業会社による  
研究開発事業に  
着手

2011年 WDBホールディングス  
株式会社設立により  
持株会社体制へ移行

2020

さらなる  
発展・拡大へ

2005

人材  
養成

事業  
会社

2010

持株  
会社

理学系  
研究職

工学系  
技術職

その他

人材サービス

研究開発  
・製造

CRO

#### 2005年

- 理学系学部を卒業した新規学卒者の特定派遣事業開始。
- 神戸基盤研究所開設、人材養成事業開始。

#### 2006年

- ジャスダック証券取引所上場。  
(2008年5月 東証二部上場に併い上場廃止)
- 中央研究所開設。

#### 2008年

- 東京証券取引所市場第二部上場。
- 株式取得により株式会社キロテクノロジー研究所  
(現 WDB機能化学株式会社)を完全子会社化。

#### 2009年

- 環境バイオ研究所  
(現 株式会社WDB環境バイオ研究所) 開設。



神戸基盤研究所



株式会社WDB環境バイオ研究所

#### 2010年

- 事業承継パートナーズ株式会社  
(現 WDB事業承継パートナーズ 株式会社) 設立。

#### 2011年

- 株式取得により株式会社  
アイ・シー・オー(現 WDBアイシー  
オー株式会社)を完全子会社化。
- 東京中央研修所開設。
- ポストドクスタイル株式会社設立。
- WDB独歩株式会社設立。
- WDB Singapore Pte. Ltd. 設立。
- 持株会社制に移行のため、WDB株式会社からWDBホールディングス  
株式会社に社名変更。新設分割により資本金3億円でWDB株式会社を  
設立し、人材サービスをWDBホールディングス株式会社から  
WDB株式会社へ承継。



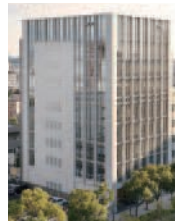
WDB Singapore Pte. Ltd.

#### 2012年

- 兵庫県姫路市豊沢町79番地に本社ビル完成。
- WDBユニバーシティ株式会社設立、教育事業進出。
- 九州研修所 (WDB株式会社) 開設。
- WDB工学株式会社設立。

#### 2013年

- 湘南研修所 (WDB株式会社) 開設。
- 株式取得により有限会社電助システムズ  
(現 電助システムズ株式会社)を  
完全子会社化。
- 東京証券取引所市場第一部指定。



WDBホールディングス本社

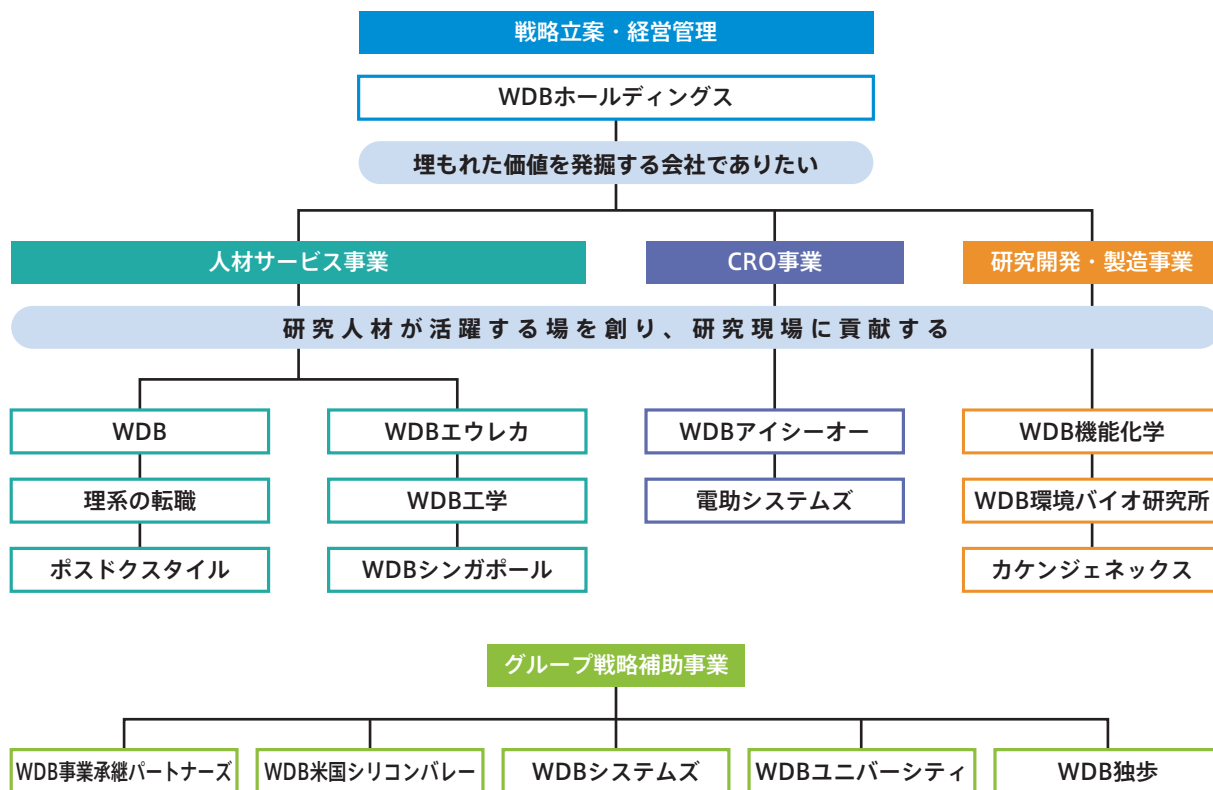
#### 2014年

- 株式取得により株式会社カケンジェネックスを完全子会社化。

#### 2015年

- WDB Silicon Valley, Inc. 設立。

### 3つの事業領域とグループ戦略補助事業



事務職派遣事業から始まったWDBグループは、2000年代には研究職派遣事業へと展開し、さらに医薬品の開発支援事業（CRO事業）、化学・バイオ・エンジニアリングという専門領域における研究開発・製造へと事業を展開してきました。

そして更に事業の付加価値を高めていくために、海外で受注し、国内で仕組みを改善し、業務効率を上げ、また他の海外拠点で実務を行うという取り組みに着手します。CRO事業においては安全性業務を、研究開発製造事業においては実験代行業務で、その取り組みを行います。

その新たな挑戦を担う組織として、2015年5月、WDB米国シリコンバレー株式会社を設立しました。設立の地となるシリコンバレー（カリフォルニア州）には、これまでも現在も、様々な変革を起こしてきた企業が数多く立地しています。このシリコンバレーを拠点に、WDBグループの新たな挑戦が始まります。

### 人材サービス事業

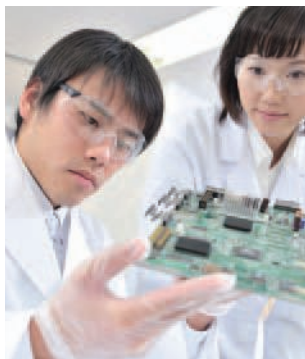
理学系研究職の人材サービスのリーディングカンパニーである  
WDB株式会社を中心に、6社で人材サービス事業を行っています。

当社グループのメイン事業である人材サービス事業は、化学・バイオ等の理学系研究職における人材派遣事業を行う「WDB」と「WDBエウレカ」、機械や電気・電子等の工学系技術職における人材派遣事業を行う「WDB工学」、そして派遣就業を卒業していく人の正社員転職エージェントとして機能する「理系の転職」、博士号を取得してもポスドクという任期付就業で将来のキャリアが不透明で不安を抱えている研究者を支援する「ポスドクスタイル」、海外での正社員転職を支援する「WDB Singapore」の6社で構成されています。

「WDB」、「WDBエウレカ」が取り扱う化学・バイオ等の理学系研究職人材派遣の市場規模は約700億円（当社推計）あり、当社グループの理学系研究職の売上高は約210億円（2015年3月期実績）、シェアは約30%を占めています。つまり、全国の化学・バイオ分野で派遣就業する人たちの約3分の1が当社グループからの派遣社員です。取引先は、独立行政法人、国立大学等の公的研究機関から医薬品・化学・食品メーカー等まで、全国約1,400社にのぼります。

一方、「WDB工学」が取り扱う機械や電気・電子等の工学系技術職の市場規模は約1兆円あると言われています。その中で大手といわれる会社は2社あり、その2社の売上を合計しても約1,000億円、シェアは2社合計で10%でしかありません。当社グループは、理学系研究職派遣で培ったノウハウをもとに、この工学系技術職の市場に進出していきます。そのために、「WDB工学」を2012年12月に設立しました。2014年4月に第1期の社員が就業したばかりですので、まだまだ売上規模は小さいですが、将来的には大きく伸ばす計画です。

人材サービス事業では、今後も専門性の高い分野である理学系、工学系に特化し、事業を拡大させ、2021年3月期には、売上高850億円を目指しています。



### CRO事業

医薬品・医薬部外品・化粧品等の臨床試験以降における開発業務を代行・支援しています。

WDBグループの中で、医薬品・医薬部外品・化粧品等の臨床試験以降における開発業務を代行・支援するのがCRO（Contract Research Organization＝医薬品開発業務受託機関）事業です。お客様は、WDBグループの人材調達能力を活かして迅速に組織体制を作り上げることができ、人材派遣または業務委託という選択肢を活用することにより柔軟な組織体制を作ることができます。同時に、スタッフが蓄積したノウハウは、サービスの新たな価値となってお客様に還元されます。

### 研究開発・製造事業

機能性材料の試作・製造代行サービスや海洋生物に特化した生態影響試験の受託サービス、プラスチック成形関連装置等の開発・製造を行っています。

研究開発・製造事業において、WDB機能化学は「電子材料、医薬品、化粧品等の素材開発における実験・製造代行サービス」、WDB環境バイオ研究所は「海洋生物に特化した生態影響試験の受託サービス及び生産販売」、カケンジェネックスは「ガスインジェクション装置・窒素発生装置等の装置やバイオ関連機器の開発・製造」を行っています。この事業を通じて、WDBグループに在籍している優秀な研究職人材の能力を発揮できる環境をつくり、高度なスキルを持つ技術者を育成することで高い成果を出し、それを顧客企業に還元していくことで、付加価値の高いサービスを提供します。

### グループ戦略補助事業

WDBグループの各事業の競争力アップをサポート。  
すべての事業における効率性の追求を実現しています。

WDBグループでは多様な事業を分社化することにより、人材サービス事業、CRO事業、研究開発・製造事業の競争力アップをサポートし、すべての事業における効率性の追求を実現しています。

WDB事業承継パートナーズでは、開発・製造事業へと転換するWDBグループのためのM&Aの他、医薬・化学・食品分野の企業様とのネットワークを生かしたM&Aを支援します。



第30期における主なトピックスを掲載致します。

## TOPICS.1 ■ 株式会社カケンジェネックスを子会社化致しました

平成26年4月23日付で、株式会社カケンジェネックスの株式を100%取得し、完全子会社化致しました。当社グループにとっては8社目のM&Aとなります。

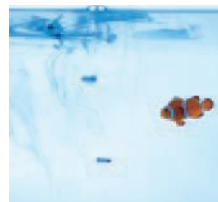
株式会社カケンジェネックスは、射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を中核としています。当社グループが工学系領域における研究開発・製造事業並びに人材事業へと展開を始める中、カケンジェネックスが有する事業基盤と当社グループが有する顧客及び営業網、人材等の事業基盤を活かすことにより、双方の事業成長につながるものと考えています。



## TOPICS.2 ■ WDB環境バイオ研究所が魚類急性毒性試験の国際資格を取得致しました

平成26年8月7日付で、株式会社WDB環境バイオ研究所が魚類急性毒性試験に関するISO/IEC 17025:2005 の認定を取得いたしました。

この試験は、環境リスクアセスメント試験の1つに相当し、被験物質（化学物質、工場排水等）の海水条件における毒性情報を提供するものです。この資格を取得した会社は、日本ではもちろん、環境リスクアセスメント先進国である米国においても見当たりません。WDB環境バイオ研究所は、この資格と技術・設備を活かし、よりお客さまに価値あるサービスを提供してまいります。



## TOPICS.3 ■ 連結子会社の代表取締役の異動を致しました

当社は現在連結子会社16社から構成されておりますが、その中の11社について、代表取締役の異動を致しました。新たに就任した代表取締役のメンバーは、それぞれの子会社において現場で活躍してきた人材です。

現場経験豊富な人材を代表取締役に登用し、権限を委譲することで、より機動的な経営および意思決定の迅速化を図り、経営環境の変化に対応できる経営体制の構築を目指しています。



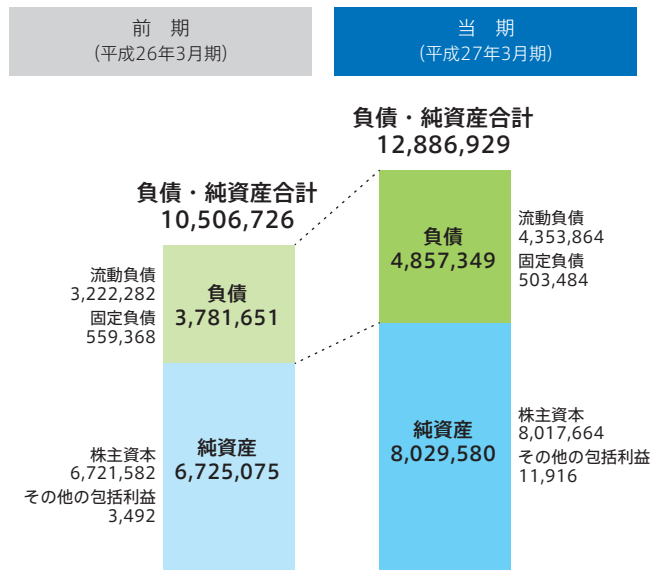
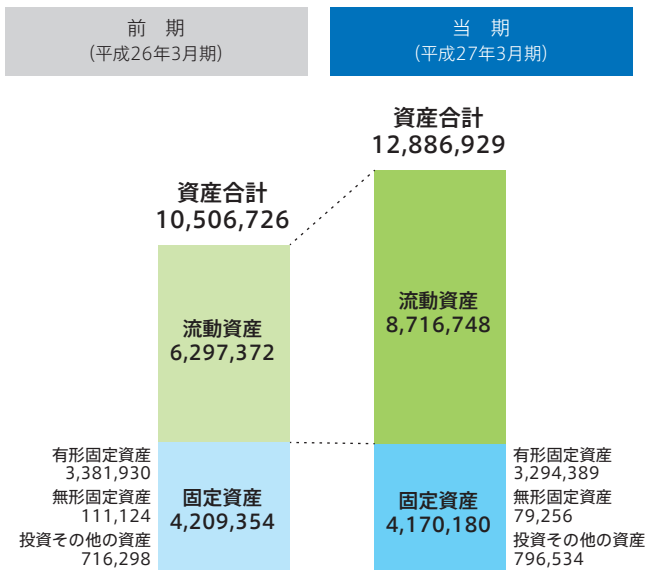
## TOPICS.4 ■ 当社株式を分割致しました

平成26年12月31日（実質基準日/平成26年12月30日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主が所有する普通株式を、平成27年1月1日付で1株につき2株の割合をもって分割致しました。

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株主、投資家の皆様がより一層投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています。



■連結貸借対照表



■連結損益計算書

(単位：千円)

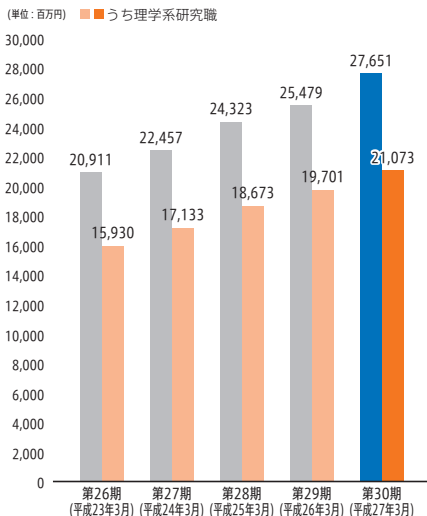
科 目	前 期 (平成26年3月期)	当 期 (平成27年3月期)
売上高	25,479,346	27,651,033
売上原価	19,430,025	20,872,356
売上総利益	6,049,320	6,778,677
販売費及び一般管理費	4,029,439	4,247,435
営業利益	2,019,881	2,531,242
営業外収益	65,463	26,453
営業外費用	20,694	8,461
経常利益	2,064,649	2,549,234
特別利益	—	16,255
特別損失	—	34,908
税金等調整前当期純利益	2,064,649	2,530,580
法人税等	914,000	1,013,834
少数株主利益	—	—
純利益	1,150,649	1,516,745

■連結キャッシュ・フロー計算書

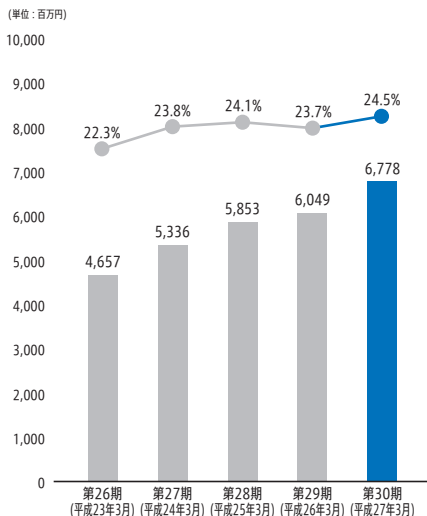
(単位：千円)

科 目	前 期 (平成26年3月期)	当 期 (平成27年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,587,164	2,364,698
投資活動による キャッシュ・フロー	△222,074	△42,757
財務活動による キャッシュ・フロー	△493,875	△560,195
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5,500	4,927
現金及び現金同等物の増減額	876,714	1,766,673
現金及び現金同等物の 期首残高	1,939,089	2,815,804
現金及び現金同等物の 期末残高	2,815,804	4,582,477

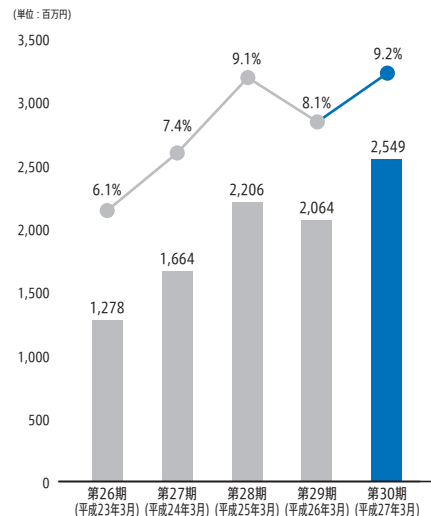
## 売上高



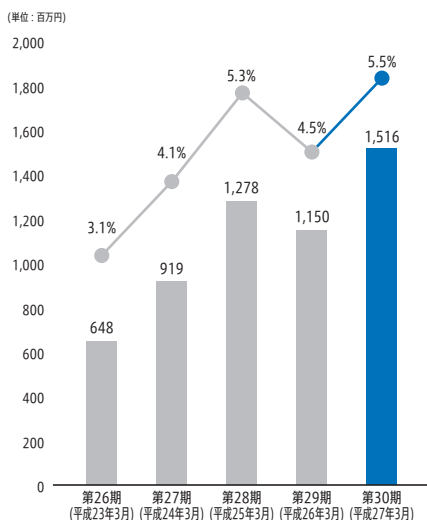
## 売上総利益・売上総利益率



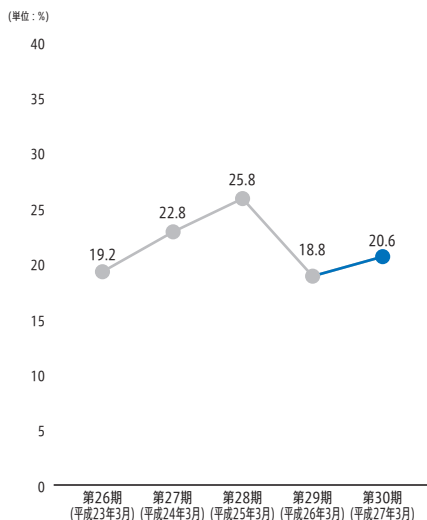
## 経常利益・経常利益率



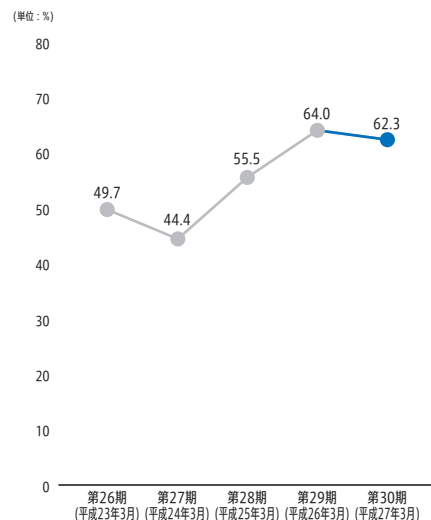
## 当期純利益・当期純利益率



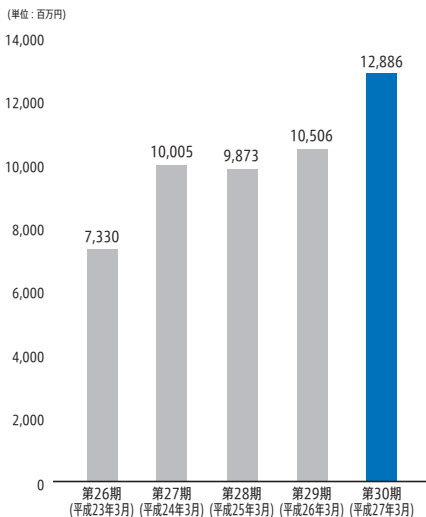
## 自己資本利益率 (ROE)



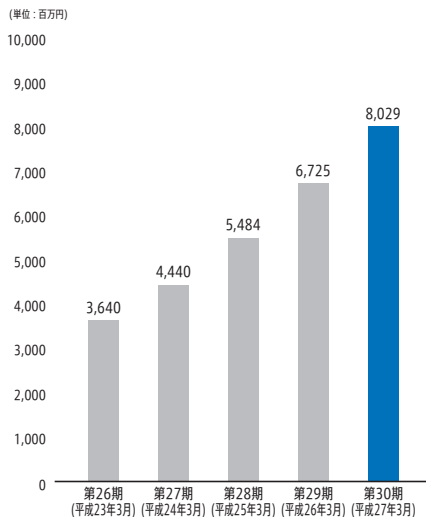
## 自己資本比率



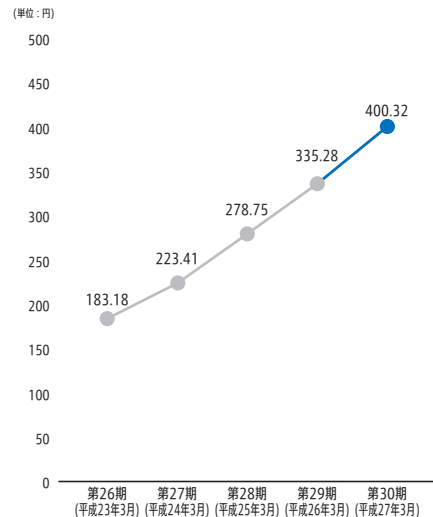
## 総資産額



## 純資産額

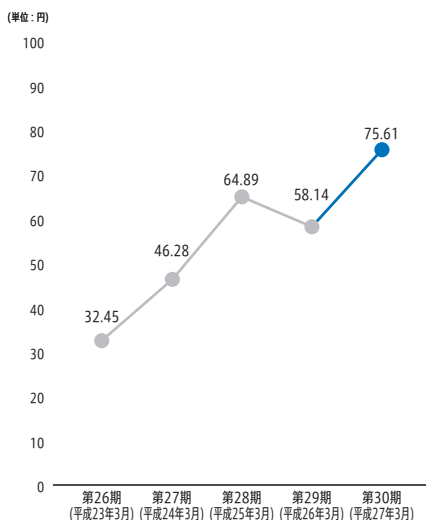


## 1株当たり純資産額 (BPS)



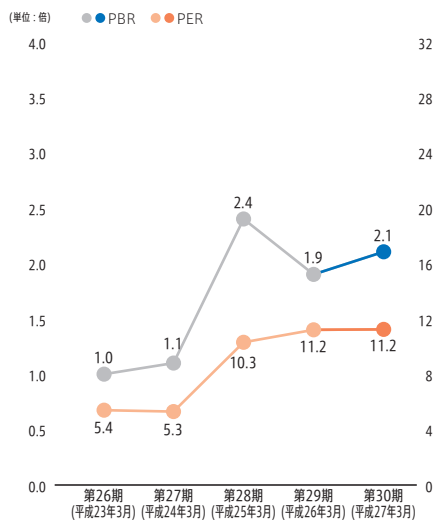
(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。従いまして、1株当たり純資産額(BPS)につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

## 1株当たり当期純利益額 (EPS)

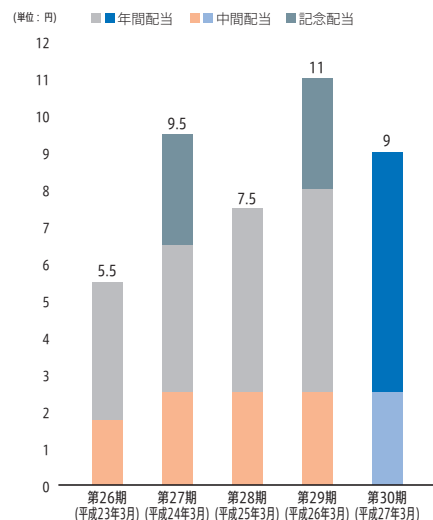


(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。従いまして、1株当たり当期純利益額(EPS)につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

## 株価純資産倍率 (PBR)・株価収益率 (PER)

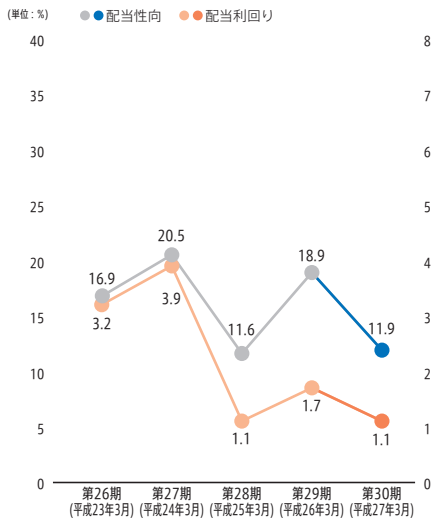


## 1株当たり配当額

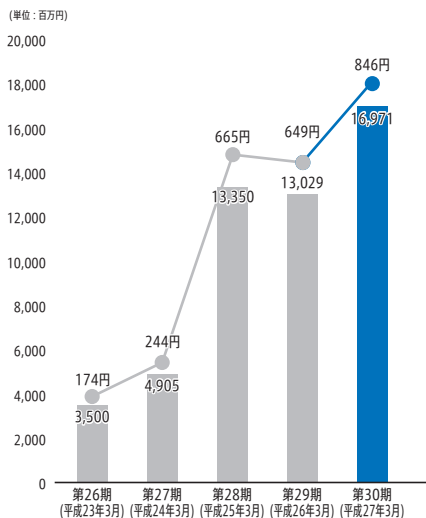


(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。従いまして、1株当たり配当額につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

## 配当性向・配当利回り



## 株式時価総額・株価



## WDBホールディングス株式会社

### 会社概要 (平成27年6月25日現在)

社名	WDBホールディングス株式会社
設立	1985年(昭和60年)7月6日
資本金	10億円
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード 2475)
本社	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地 TEL 079-287-0111(代) FAX 079-287-0112
東京本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5221-8111(代) FAX 03-3211-7711
グループ会社	16社
URL	<a href="http://www.wdbhd.co.jp">http://www.wdbhd.co.jp</a>
社員	724名(連結・契約社員含む)
事業内容	持株会社として、グループ会社の経営管理 埋もれた価値を発掘していく会社として、人材サービス、CRO、 研究開発・製造の3つの分野で既存事業の運営と新しい価値を 産み出す事業の発掘と育成を行います。

### 役員 (平成27年6月25日現在)

代表者	代表取締役社長	中野 敏光
役員	専務取締役	大塚 美樹
	取締役	中岡 欣也
	社外取締役	黒田 清行
	社外取締役	木村 裕史
	監査役	鶴飼 茂一
	社外監査役	濱田 聡
	社外監査役	有田 知徳

## グループ会社 会社概要 (平成27年6月25日現在)

### ■人材サービス事業

#### WDB株式会社

バイオ・化学の研究開発業務における人材派遣・人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 中野 敏光
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-6860-7111(代) FAX 03-3287-0050
拠点	支店64拠点、研究所・研修所5拠点
許可	一般労働者派遣事業 般13-305001 有料職業紹介事業 13-コ-305209

#### WDBエウレカ株式会社

バイオ・化学の研究開発業務における特定派遣サービス

代表者	代表取締役社長 大塚 美樹
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-6212-8811(代) FAX 03-3211-7755
拠点	グループ支店64拠点
届出受理	特定労働者派遣事業 特13-300414
許可	有料職業紹介事業 13-コ-303631

#### 理系の転職株式会社

理系分野における人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 葛原 武典
本社	〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-3-3 TEL 078-304-6300(代) FAX 078-304-6133
拠点	東京、神戸
許可	一般労働者派遣事業 般28-300659 有料職業紹介事業 28-コ-300435

#### ポストドクスタイル株式会社

ポストドクの人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 葛原 武典
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5222-7288(代) FAX 03-3211-7755
拠点	東京
許可	有料職業紹介事業 13-コ-305447

#### WDB Singapore Pte. Ltd.

シンガポールにおけるバイオ・化学の研究開発・技術分野の人材紹介サービス

代表者	Director 西田 尚徳
本社	30 Raffles Place, Chevron House #17-32, Singapore 048622 TEL +65-6809-6235 FAX +65-6809-6238

#### WDB工学株式会社

工学系研究職・技術職人材の特定派遣サービス

代表者	代表取締役社長 栖原 佳大
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5220-1161(代) FAX 03-3211-7755
拠点	東京、グループ支店64拠点
届出受理	特定労働者派遣事業 特13-316276

### ■CRO事業

#### WDBアイシーオー株式会社

医薬品開発・医療に関わる翻訳・メディカルライティング・安全性情報管理支援

代表者	代表取締役社長 谷口 晴彦
本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル6F TEL 03-6895-5120(代) FAX 03-6895-5118
許可	一般労働者派遣事業 般13-304710

## 株主構成 (平成27年6月25日現在)

- 発行可能株式総数／80,240,000株
- 発行済株式総数／20,060,000株
- 株主数／3,802名

## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社中野商店	7,710,000	38.43
中野 敏光	2,949,600	14.70
谷岡 たま系	1,108,000	5.52
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)	662,800	3.30
大塚 美樹	480,000	2.39
日本生命保険相互会社	400,000	1.99
WDBグループ従業員持株会	382,900	1.91
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG	360,000	1.79
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	359,700	1.79
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	236,100	1.18
計	14,649,100	73.03

※持株比率は自己株式(2,190株)を控除して計算しております。

## 電助システムズ株式会社

医薬品開発・臨床研究等に関するデータマネジメント・統計解析業務及びシステム開発

代表者 代表取締役社長 今村 敦  
 本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-8 いちご内神田ビル9F  
 TEL 03-6840-5911(代) FAX 03-6840-4790  
 届出受理 特定労働者派遣事業 特13-011531

## ■研究開発・製造事業

## WDB機能化学株式会社

電子材料、医薬品、化粧品等の素材開発における実験・製造代行サービス

代表者 代表取締役社長 甲角 幸秀  
 本社 〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽1870-16  
 TEL 0480-48-0512(代) FAX 0480-48-0517  
 事業所 幸手工場、松戸R&Dセンター

## 株式会社WDB環境バイオ研究所

海洋生物に特化した生態影響試験の受託サービス及び生産販売

代表者 代表取締役社長 中村 智治  
 本社 〒779-2307 徳島県海部郡美波町山河内字外ノ牟井1-6  
 TEL 0884-77-1117(代) FAX 0884-77-1119

## 株式会社カケンジェネックス

ガスインジェクション装置・窒素発生装置等の装置やパイオ関連機器の開発・製造

代表者 代表取締役社長 佐々浦 一志  
 本社 〒270-2214 千葉県松戸市松飛台439-1  
 TEL 047-383-8300(代) FAX 047-383-8301

## ■グループ戦略補助事業

## WDB事業承継パートナーズ株式会社【M&amp;A】

医薬・化学・食品分野のM&A支援

代表者 代表取締役社長 ニノフ 規史  
 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F  
 TEL 03-3211-1511(代) FAX 03-3287-0050

## WDB Silicon Valley, Inc.【CRO・実験代行事業等】

米国におけるCRO・実験代行事業及びWDBグループの支援

代表者 President & CEO Andrew Robbins  
 本社 1230 Bordeaux Drive Sunnyvale, CA 94089, United States  
 TEL +0101-650-763-2233

## WDBシステムズ株式会社【ITサービス】

WDBグループの戦略的情報システムの構築とITインフラの提供

代表者 代表取締役社長 山根 直樹  
 本社 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地  
 TEL 079-287-0171(代) FAX 079-287-0172

## WDBユニバーシティ株式会社【教育機関】

研究職人材のマネジメント能力と総合力の向上のための教育機関

代表者 代表取締役社長 大塚 美樹  
 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F  
 TEL 03-5222-7577(代) FAX 03-3211-7755

## WDB独歩株式会社【障がい者雇用促進】

データ入力処理、清掃業務等を通じた障がい者雇用促進

代表者 取締役社長 奥田 広宣  
 本社 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地  
 TEL 079-283-1771(代) FAX 079-283-5188

## 会社の概況

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社（東京都千代田区丸の内1丁目4番1号）
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部（大阪市中央区北浜4丁目5番33号）
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	2475

### ホームページご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報等  
当社をご理解いただくための様々な情報をご提供しています。



こちらから当社IR情報をご覧ください。 <http://www.wdbhd.co.jp>

## WDBホールディングス株式会社

問合せ先/WDBホールディングス株式会社 経営企画部  
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地  
TEL 079-287-1855(直通)

■本社/〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地  
TEL 079-287-0111(代)

■東京本社/〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F  
TEL 03-5221-8111(代)